

返事の不費おしりしてまいりました。何しろ
 竹内越村に先生といわれたいのでもうから、考之
 二おあつたを得ません。他の詩人先生存といふ
 知らず、お生に先生呼ばわりはあやめ下さい。
 と二三つ、旅さす、仰てすか、二此も許し
 て下さい、話したいことは多々あるのでもか
 、内容の整備に必要な資料を集めるのの大変
 なのです。いふ根拠もなければ、時向もな
 のです。ひとりで勝手な詩を書き、本を誌外

将棋を指し、旅行いもす、うか、今日、あし
 にいせいいい、うほい、です。

大兄、お意にたに程、い、う、う、と、い、相
 滞りぬことですか、誠か適者なりと、ナリ
 ハリの判、い、自話、さ、せ、下、さい。

三月廿七日

山崎信之

竹内多三郎様

三月廿七日

柏市芝丘、合田住宅三九七
 山崎信之